

※キャラクター

2 1
ラミア
イライザ



-共通台本-

cha0001 ハーフ・イザ

「（国家特別捜査官ハーフ・ショント・ラミア、そして同ハーフ・ショント・シャドウ。二人は潜入捜査を得意とする超A級の男女ペア捜査官である）」

cha0002 ハーフ・イザ

「（二人は幾つもの犯罪組織に潜入し、社会の闇に潜む、数々の凶悪犯を倒し、その組織を壊滅させてきた。先日の麻薬密輸組織の一斉検挙にも、二人の活躍があった）」

cha0003 ハーフ・イザ

「（恋人を装い、組織に潜入したラミアとシャドウ。艶めかしいラミアのリードによりて、二人は本当の恋人以上に濃密な関係を、麻薬組織のメンバーに見せつけ、その目を欺くことに成功したのだ）」

cha0004 ハーフ・イザ

「（人妻でもあるハーフ・イザは、自らの魅力を充分に自覚していた。その熟れた妖艶さを武器にして、年下のシャドウを夢中にさせ、自らの魅力の虜として、見事に任務を果たしてみせた）」

cha0005 ハーフ・イザ

「（皿に口に、名声の高まるハーフ・イザ・シャドウペア。ふたりの次なる秘密指令は、国際犯罪組織ブラッディ・シャークへの潜入捜査だ）」

cha0006 ハーフ・イザ

「（情勢不安定な国家やグリラの幹部に接近し、麻薬、人身売買、そして海賊行為と様々な凶悪犯罪を繰りかえす、ブラッディ・シャーク）」

cha0007 ハーフ・イザ

「（組織の壊滅は各国の捜査機関の悲願であった。ソード、ラミア・シャドウペアに白羽の矢が立ったのだった）」

cha0001 ハハハ

「行いつぶるねえ、あなた……今回の出張は少し長くなるかも……ハハハ、大丈夫。海外の仕事には慣れてるの……ハハハ、ハハハ。だから、心配しないぞ」

cha0002 ハハハ

「危険ないんだしないわよ……本物よ……ハハハ、信じじよ……」

cha0003 ハハハ

「……えむへ、じやあ、行いつわがすのキス、すねねね……ほひ、ハハちに顔をむいと近づかう、えややややシマ、えむへ、かむほシ……さよ……あなた……愛してるわよ……」

…」

cha0004 ハハハ

「（……公務員が……確かに嘘はついていいないけれど……潜入捜査のスペイも殺し屋も、国家に属していれば公務員よね……普通の仕事をしてくる夫には、組織の汚れた仕事のハシなんぞ、絶対に話せない……）」

cha0005 ハハハ

「（やあ……愛するあの人には屬れて、秘密任務をハシなすのは、もう限界かもしれないわね……。そもそも身の引き時かい……危険な任務も、ハハで最後にして……私も、あの人との子供が欲しいわね……）」

cha0006 ハハハ

「（やあ、ロードネーム・ハハハ——潜入捜査官ハハハ——、最後で、最大の仕事よ……必ず成功させて、帰つてくるから……待つていてね、あなた……）」

cha0008 ハハハ

「（ハハハ）とシャドウ。二人はラシティ・シャーク（潜入する）成功した——はずだった……だが、長年の相棒であるシャドウは、ハニアを裏切ったのだ）」

cha0007 ハハハ
「ハハハ、よほ……ハヤシウ……おれが、あなたが……ねえ、その銃をしまひて……お願
い……軽い冗談なのよな……」

cha0008 ハハハ

「ええいトニー、黙つてなにや、なんとか話つてよ、シャドウイ……」

cha0009 ハハハ

「吠えるな、ローデネーム・ハハハ。でも、それがお前の名前よねえ。せーんせー、シ
ヤシウから、素性は聞いてる。エリの国家に属し、エリックルートで入ってきたかも
ね」

cha0009 ハハハ

「あ、あなたは……」

cha0010 ハハハ

「あたしは看守長イライザ。お前は、シャドウに売られたのよ。シャドウの持つ情報
ハハハ、お前の身柄。ハハハを手土産に、シャドウは私の組織へ寝返つたって
ね」

4

cha0011 ハハハ

「お前は今から、あたしの管理する組織の監獄に入るのよ。ハハハはね、女にたいぱり
と淫いな調教を施してくる。そして仕上がった女は商品として、世界中の金持やエリウ
に売り飛ばす」

cha0012 ハハハ

「お前も高く売れるよつと、しきたりと調教を施してあげるわよ」

cha0013 ハハハ

「調教は、ハハハのシャドウが担当する。本人がそう申し出たのよ。我が組織に忠誠を誓つ
て証しに、お前を快楽調教して立派な性奴隸に仕立てあげたいのね」

cha0014 ハハハ

「シャドウも、我が組織の上層部の信頼を早く得たいみたいね。ハハハ、気持ちはわか
るね。だから私も彼を調教担当に推薦してあげたのよ」

cha0015 ベルイザ

「同僚の若い男に調教されるのは、どんな気持ちなの、ハハア？ もしかして期待で

そりゃ濡らしかりやつたりしてゐるのかしら。」

cha0010 ハハハ

「……非道な……それがブラッディ・シャークのやり方……でも、私はそんな調教に絶対屈しない……国家特別捜査官のプライドにかけても」

cha0016 ベルイザ

「こいつでも吠えるのは自由よ。それで、シャドウ、お前の調教の手並み、しつかり見せておひら。組織への忠誠が本物がじうがもねえ、ふふふふふ……」

cha0011 \|~"~"

「……んんシ……足が鎖で繋がれて、逃げられない……おれかシャドウが……裏切るな
んで……」

cha0012 \|~"~"

「ハ）ねが、最後の任務のつもりだったのに……あなた……！」めんたむ……」

cha0013 \|~"~"

「（……やあ、あのシャドウがいい感じ……）」

cha0014 \|~"~"

「誰……あなたは——シャドウ……ルハ、シド、ハ）んな真似をしたの……。お金、それ
とも地位。何か弱みを握られてるの？」

cha0015 \|~"~"

「ハ）んな真似されじ、落ち着けのわけないじやない！ 何か言いとよ、シャドウ…

…」

cha0016 \|~"~"

「ハ） えいへんつ！」ハ） それは？ 私や捜査機関を裏切つてはしないのね？」

cha0017 \|~"~"

「……ええ、わかったわ、あなたを信頼すればいいのね。もちろんあなたの考えは理解
していぬつもりよ。組織の信頼を得るために、裏切りは見せかけないといふね。それ
なり、私も協力する」

cha0018 \|~"~"

「ハ）のよ、謝らなくても。敵を欺くんだ、まず味方から。事情はわかるわよ。それで
……私はどんな協力をすればいいの……覚悟は出来てないから、まあ、話して頂戴…

…」

cha0019 11/11/2019

「あの女、イライサの話……本当にたのね、シャドウが私の調教担当になつてしまふなんて……でも、任務だもの。仕方ないわよね。ブラッディ・シャーク殲滅のため、この身をあなたに捧げる覚悟よ……」

cha0020

「ふふ、和には遠慮せずに、思いきり説教してもらつていいのよ……和が信用できだしの？ そんな快楽調教に屈して、口を割るようなヤワな女ではないわよ」

cha0021

一大丈夫よ……結婚前には情報を取るために、世界中の有力者や政治家に接近したものよ。裏の世界で生きるもののは宿命……逆に私をきつちり調教できるかどうかの心配をしたほうがいいわよ？ んふふツ」

cha0022 11/11

「……ねえ、あなたは調教担当の、私の様子を見に来たことになつてゐるのよね。じゃあ、何もせずに帰つてしまふのは、変よね。そう思わない？」

cha0023

「私の気持ちは整理できているから、今から始めてもらつてもいいわよ？ 何、怪訝な顔をしてるの？ もちろん私への調教のことよ。密室に囚われた女のところに顔を出して、何もしないほうがおかしいわよね？」

cha0024 11/11/11

「ほら、あなたが信頼を勝ち得るために、私の身体を好き放題に弄んでおいたほうが、都合がいいでしょう。いいのよ、任務で慣れているもの……さあ、お願ひ——」

cha0025 11/11/11

「……何、いきなり、そういう来るの……スーツを下におろされてしまつたら、ああつ……下には何も身に着けていないのに……でもいいわ、さつさとやつて……それとも私を裸にする度胸がないの？」

cha0026 \|/\\"/ト

「……あら……私の裸、全部見られて……本当にいやらしい……ベースの中に手を入れて、胸、揉まないで……ん、シャドウ、容赦ないのね……胸をまわぐうとケダモノみたい。それなの敵も騙せやうね」

cha0027 \|/\\"/ト

「(……)れも任務なの……必ず成功れやう、帰るから……今は許して、あなた)」

cha0028 \|/\\"/ト

「ん、ん、胸、もひんこいやこねよ、やねぐらこいや感じないねよ。へす、あなたのはうが興奮して、あそいを大きへこゆじやない? いいわ、命令し。ペニスに奉仕しりいで、調教担当なら当然よな……」

cha0029 \|/\\"/ト

「へへへ、わかったわ……胸でペニスを愛でればここのね……あなたは立ったままでして……足は鎖で繋がれていのわれど、私の上半身も、腰帯も皿皿よ。ペイペコぐいには、簡単にできるね……」

8

cha0030 \|/\\"/ト

「……わあ、シャドウ、樂じし。あなたのペニスをズボンの上かい、撫でてごくねね。わあ、ズボンの上かいやも、わかいでしおはぐくいカチカチね……動かないや……ズボンから、ペニスを取りだして……」

cha0031 \|/\\"/ト

「ん、ん、いふ……あん、こわなり飛びだしてやッ……ああ、凄く立派。太く、長く、たくましくペニス……あの人のモノより、やうこ……わあ、なんでもなこのよ、わあ、始めるねえ」

cha0032 \|/\\"/ト

「んやあ、指先を絡めねよつこい、ペニスの先端から、根元まで撫であがねね。んん、あん……ああ、硬くなつた先っぽがヒクつこい……ああ、本当に、いやい」

「もつと指先を亀頭に絡めて、扱きあげるわね。エラの張つたところが、特に感じるのよね。んふ、こうやって、ほら指で輪つかを作つて、いやらしく扱いてあげる。んふ、ビクつて今、反応して、感じてくれるのね」

chall034 11/11/2014

「どうなの？」シャトウ カウパーがあふれてきる。れれ もう出しだぐんで たまら
ないんじやないの、んふふ、でも、もう少し我慢よ、ほら、もうと、しーーー、抜いて、
してあげるわね、くすツ」

cha0035 11/11

「……んふ 手だけじゃ物足りないのね……いいわよ 胸でもしてあがる スーツを
もう少し下ろして、んしょ、んしょっと。んふう、お腹の辺りまで下げるわね……はあ
はあ……何よ、じつと見すぎよシャドウ……」

cha0036

「ほら、乳房を、んんッ、出すわよ……どうしたの胸をじつと見て、恥ずかしいわよ……スーツの中に押しこめられていたけれど、出すと大きいでしょ?」

cha0037 11/11/13

「ハ」のむちむちに張った両方の生乳房で、あなたのペニスを、ハサウте、んしょ、んしょと、挟みこむわね……」

cha0038 11/11/19

「ほい、どうがしら、吸いつくような、おっぱいのむにむに感を、ああ感じてちようだい？」

cha0039 11/11/13

「若いペニスは違うわね、硬くて、そもそも綺麗で、胸に挟んで、その震えを感じてるだけ、興奮してきちゃう。」つやつや。ペニス全体におひぱいの柔らかさを、すりすりって、押しつけてあげる、んふうシ

「ほら、柔らかい乳房ですりすりされるの、どうかしら？ んふ、シャドウ、何か言いなさいよ。黙つてばつかりで、そんなにペニスをバイズリされるのが、気持ちいいのかしら？ ほらもつと、すりすりしてあげる♪」

cha0041

「ふふ、ほら、私の生乳房、もいと感じて♪」
ふふ、あなたのペニスビクビク震えて、もう出したい、出したいって、誰がてるわ
ね。でも、まだ、だらめ。もう少しよ。男のヒトが早めがいいと、嫌われちゃうわよ、ん

cha0042 11/11/12

「ほらほらほら、乳房をもつと激しく絡めて、根元から先っぽまでを、いっぱいしつこい、しつこい、しつこい、扱いてあげるわね。おねだり汁が溢れて、すっごい量ね、んふふ

cha0043 11/11/14

「カウパーだけじや寂しいでしようから、んじゅる、じゅるる、れろろ。ろツツ、はふくツ、唾液を沢山垂らして……たっぷりと亀頭にまぶしてから、これをローションみたいにして、おっぱいでにゅるにゅるしてあげる」

cha0044 11/11/14

「ほら、両方の乳房がおちんぽに絡んで、にゅるにゅるして、まるで、おまんこみたいに感じちゃうでしょ？ んふ、ほらもうと私のおっぱいおまんこを感じて、いっぱいにゅるにゅるして、刺激してあげるわね」

cha0045 11/11/12

「もつ出したいのよね、腰まで使っちゃって、私のおっぱいの谷間で、こーこーして、んふふ、がつつきすぎよ。もいと理性をしつかり持ちなさい。捜査官なのに、オチンポの快樂に負けちゃダメでしょ?」

cha0046 \|/\|/\|/\|

「えいや、ほん、今日はいいがじゃ。射精はなし。出しちゃうかと思ったら、次から私を調教できないやつよ。いいがで奉仕したのよ、あなたがめいと欲情してめいひで、調教に本腰を入れてもうつたぬよ……」

cha0047 \|/\|/\|/\|

「(えつよ……私がシャドウのペニスを一生懸命ペイズリしたのは任務のため、彼に思い切り、私を調教させるため……めいと私を求めて貰わないとthoughtかひ……)」

cha0048 \|/\|/\|/\|

「(だいじ、任務のためでなければ、こんな淫ひないだやしない……前のシャドウと恋人を演じたときと一緒よ。今度は調教する側がやれる側、任務に変わはないもの)

cha0049 \|/\|/\|/\|

「えいっただの、じつぶいいやを見て。めいペイズリは終わりよ……ねえ、あッ……ペイズリのせわうじ、あんし……シャドウ、えいっただの、んい、強引に腰を、んとい……奪うなんて、だめ……」

11

cha0050 \|/\|/\|/\|

「キスは、んうう……調教と関係ない……せよ……んちゅう、わゅ……あ……んうう……ああ、情熱的なキスね、さすがはシャドウ……あなたの気持ちは充分伝わってきただけれど……その気持ちには答へられないのよ」

cha0051 \|/\|/\|/\|

「……ええ、んうう……シャドウ、もう行ひよ……長く一緒にいるに疑われてしまつわよ……次に会った時、私はあなたに調教される捕虜よ……やれを忘れないで……」

cha0052 \|/\|/\|/\|

「任務のため、お互に頑張りましょ……」

cha0053 ハハハ

「……来たのね……調教は一人? シャドウだけじゃなくの……ライザ、あなたも一緒になの?」

cha0017 ハハハ

「あたしがいでは、都合が悪くなる。すでに快楽調教をした性奴隸一匹の注意が入っている。だからあたしも一緒に入って、お前をすぐ口でも、使い物になる商品くふ仕立てなことこなさる。わかる?」

cha0018 ハハハ

「えい、調教開始よ。シャドウ、おまはいの生意気な女の胸から、仕上げましょうか? メロンドも仕込んだみたいにおねがな胸を快楽漬けにすれば、もうかしら。やあ、やつたやれ!」

cha0054 ハハハ

「ハヤシウ、リの裏切り者ッ……つ、胸を揉まれたぐらうで、感じたりしないねよ……うへへ、強く揉まなうで……直接、強く揉まれね、痛いッ……痛いのッ、んううう……」

12

cha0019 ハハハ

「ふふふ、ひいかりしたスージから、露田した生白い乳房。んふふふ、本当に絵にならねえ、ハハハ」

cha0020 ハハハ

「それに痛いだけなの。わへ感じられないんじゃないの。お前の食事に仕込んだ感度の上がる薬が、そひそひ効いてる」ふふふ、んふふふ」

cha0055 ハハハ

「……なんだ、薬だなんて聞いてない……それにこゝの薬でだいて、簡単に感じやせるれたりしなくなよ。へふ、だから胸を乱暴に扱わないで……んん、」の私が簡単に屈したりするのを…」

cha0021 ハハハ

「だこみ感度が上がってきたみたいね。顔に出でるのは、ハハ。ヒトが一番弱いのはわれている快樂で責め堕としてあげる。わあ、めいに激しくや、シャドウー！」

cha0056 ハハハ

「ふ、ニヤッ、ソリは触のよこだ……乳首、弓の張るの、んう、いねの、も、んふ……シ……あ、あ、あや、あややややにせんだり……だんだん変になつたか…」

…」

cha0057 ハハハ

「ら、あひ……乳首は、本当にむく……んう……んう……痛いけど、んう、痛いけど、へう、変な声、出てしまひ……んう…」

13

cha0058 ハハハ

「いえな……薬のせいで、頭が迷つてちかく……うう……快樂に呑まれやつ……はあはあはあシ……おいはに全体が、はる、んう、なんだか敏感になつて、へへ、わへ、負けてしまふや……」

cha0059 ハハハ

「(ハヤシウの手でおいはにの形、いんなりやるべ用ゐるねいり……ああ、胸がふんふん感じやすく、変えておいまいりや……)」

cha0060 ハハハ

「あはああ、む、胸、んう……感じやれ、あひ、あひ、あひ……あや、あら、あら、胸、むいに感じやすくないで……」

cha0061 ハハハ

「(また乳首、いはい引の張られて……いや、乳首を限界まで引の張った手を離されたり、胸、むいに感じやすくないで……)」

cha0022 ハハハ

「ええ、乳首の感度開発も進んできたね。わあ、めいと胸の快楽調教を進めましょ
う。そんなに濃度の高い薬液を、胸に注いであたねね。こうたぐ、きるなるのかーん、
えええ。わあ、シャドウ、やいトー」

cha0062 ハハハ

「ふ……なによシャドウ、それは……いやあああ、乳首に注射しないでッ、んははは
ッ、痛い……んうーっ、あはああ、ああッ」

cha0063 ハハハ

「ねいぱこの中、液が、ああッ、入ってきい……んうう、うう、あはああ……ああ
ッ、い、いやあッ、胸が変になつて……あはああッ、ビハーハーんなに感じかやつたの…
…へ、ハハハシ……」

cha0064 ハハハ

「えやー、ひ、左だけでなく……あ、あああ、中に液が入ってきて、んじーーー……
右もなのシ……組織の言こなりになるなんて、わざいねよ。あなたエージョントドク
ての誇りを忘れたの、あはあッ、あはああッ」

cha0065 ハハハ

「乳首感じて、んひーー……こや、」ふ、ふうしてなの……あはあ……」

cha0066 ハハハ

「まだ、わるのシャドウ。に、一本田む。ああ、これ以上われたら、私奮れられない…
…ああ……あひーー……んんッ、んひーー、これ以上、ねいぱこ感じぬよつたされた
ら、私……私ッ……ううう……」

cha0067 ハハハ

「乳首、んいー、か、感じて、頭真の丘になつて、ハハハ……ああ、先のせがまだ勃起
して、えつづ、中から乳首の芯が出てきて……へやッ、ううッ、んうう、んうう…
…へやうう……シ」

cha0069

「…………ああ、あふうう……胸、そつと触られてるだけで、んひ、感じてしまひで……、」
「…………ああ、あはああ……あふ……あふうう」

「（胸の責めが優しくなつて……あ、シャドウ、気遣つてくれてるのね……助かったわね……）れを続けられたら、さすがの私でも、耐えきれるかどうか……わからないもの……でも、まだ負けないわよ……）」

「シャン、責めの手が緩んでるね、ねえ、本気でやってる？ 仲間への気持ちが残ってるんじゃないの。いいわ、あなたは少し脇へのいいなさい。本気の責めの手本を、」のあたしが見せてあげる」

// [SE] 鞭音

「んうーー、あーーー、痛いッ……鞭で胸を叩いたら、いーーー、だめ、だめッ……あーーーんうー、んうー、そんないふせれたのッ……あーーーんんッ、ンーーーッ
……刺激凄すきー、あらーーー……」

cha0072 11/11/12

「やめろッ、胸がおかひく、なつてしまうッ、ああ、感じすぎて、鞭で叩かれての
に、くひいい、よくなつてしまつううう……あはああッ、いくシ、鞭で叩かれて、ひいい
……いくシ……ああッ……」「…」

「あははッ、ふるふるおっぱいを卑猥に震わせて、はしたなく胸イキしたのね。優秀な捜査官殿も、今や、乳首でイクだけのただのメスね。さあ、シャドウ続きよ。もつと樂が効いたら、さらに面白いものが見れるわね」

cha0073 11/11/13

「う……」
「はあ、はあッ……面白いモノ？　あ、んはああ、まだイつた余韻で感じやすくなつて
るのに、おっぽい揉まないで……ああ、本当に耐えられない、頭がおかしくなつてしま
う……」

cha0074 11/11/13

「あふ、あふうう、ああ、注射で大きくなつた胸……揉まれたら、またイッひやうう、あはあああ、根元から、んうう、搾るように、んひいい、揉まれて、ああ、どうして……乳首がまた大きくなつて……」

cha0075 11/11/13

「はひいい、エッチに乳首勃起して、んひいい、こんなに大きくなるなんて……あ、おかしい……ううう……あふうう、それに……おっぱいが張つて、重くて、んう、苦しい、胸の先が切ないの……あふうう」

cha0076 11/11/2013

「んうう、あはああ、おっぱいの奥から、変なのが上がってきて、ああ、おっぱい根元から搾られたら、ああ、いや、いやああ、あくう……おっぱいから、出る、熱いのが、出てしまっツ、あーーツ！」

cha0077 11/11/13

「あひいい、いや、白いのが、こ、これって母乳ッ……ああ、私、胸で感じすぎて、ん
ひいい、おっぱい射乳ッ、しひやつて……乳首の先がいっぱい開いて、あはああ……あ
あ……ミルクが溢れて……止まらない……」「

cha0078 11/11/13

「ああ、シャドウ、胸搾らないで……感じすぎて、あんツ、またあ、シャドウの顔におはいミルクうう、ぶつ掛けツ、しひやうううーツ、ああツ……ああ、くふツ……ああ、ミルク、出でしまつ……あーツー！」

cha0079 11/11/13

「……はあ、はあ、はあッ、いっぱい、母乳が出てしまった……ああ……シャドウの前で、はしたなくおっぱい射精ッ、してしまって……夫の前でも、ミルクのお漏らしなんて、した」とないのに……」

cha0080 ۱۱۱۱۱

cha0025 イラ イダ

「アミア、たっぷりミルクが出たみたいでよかつたじやない？ 次回はただ快樂だけでなく、面白い趣向を凝らして、お前を恥ずかしめてあげるわね。んぐぐぐぐぐぐぐ

cha0081 ラバババ

「（ああ、身体がこゝも火照りてしまひ。自分のものではないみたい。夫のある身で
こんな、いけないことに。若い同僚の、シャドウの肉体を欲しがっているわけじゃ
なこのよ……あ、誰か来た……）」

cha0082 ラバババ

「シャドウ……来ててくれたの、待っていたの……私、身体の奥から溢れだす快樂に呑まれ
てしまふやう……氣のせいだか、ここから……」

cha0083 ラバババ

「ふう……ね……あの程度のフレイドライザが納得するわけないもの……」されか
へ、わりと調教が激しくなるのよね。その覚悟も出来て、……わがわん任務のためだ
もの、身体を開く覚悟はあるね」

cha0084 ラバババ

「なんだか不安そうな顔ね、シャドウ。いいわ、私の覚悟を今、示してみせましょ
うか。」

cha0085 ラバババ

「ラバババで全裸で、足を鎖に繋がれているのね、せう、あなたの前で大股を開いて
……はあはあ、恥ずかし……」へやへや、M字開脚の姿勢になれば、やわらかくなるのよね……
任務のためなん……ね……」

cha0086 ラバババ

「えへへ、何よ……じへじへの顔ひれたひ、ああ、私も気持ちが此らひてしまひ。任
務で太った金持ちにみのねるよつか、ああ、シャドウ、あなたに見ひれる方が、感じる
の……シ……」

cha0087 ツバメ

「あなたのペニスも大きくなつて……準備はやめらるよつた……」
あなたの欲望を私にぶつけておひいてや……敵を欺くためには、私は肉便器のよつてに使わ
れてくるほうが好都合よね……」

cha0088 ツバメ

「えええ……えええ、あなたのペニスが、あそいに入つてきて、えつらうう……奥
くゆくゆくと進んで、私の中をぐいぐいで押し拵げながら、満たしていくのが、わかる
の……ああ、本当に大きなペニスね……」

cha0089 ツバメ

「あらうう……久しづつ充実感……えうう、奥まで、このまま満たされ……それ
に、あらうう、身体に投与されつづけている薬のせいかな……この以上に、あそい
がきゅうきゅうつて震えて……あはああ……」

cha0090 ツバメ

「(子宮が甘く締めつけられて……夫以外のモノが欲しくなつてしまつて……違
う、私はこんなにしだら女ではないのよ……)」

cha0091 ツバメ

「お願ひ、シャドウ。動いて……夫もいて、私は本當にこんな淫乱な女じやないの……
でも、こんな気分になつてしまつのは、あひと薬とあなたの調教のせいよ……わつだ
め、我慢できないの……」

cha0092 ツバメ

「あなたにたゞせん調教され、こんなエッチな身体になつてしまつたの……動いて、
お願ひよ……シャドウの大きなモノで、私の中をかき廻せて、めわやくわやくしてほし
いの……ええ……ああ、いこ、おひいよ……」

cha0093 ツバメ

「……ああ、あはああ……いこ、いこ。気持ちいこ……たゞせんのよ、おおいい
の奥までかき混ぜられて、あああ、感じておはなう……シャドウのチンポで、おま
えいの奥まで、感じてしまつてる……」

cha0094 ハハハ

「ふひふ、激しく……」ト……あはああ……あなたのチンポで、おまんこのが、ヒダヒダ、擦りて、こいほこ感じられて……ああ、あー、感じられて喘ぎ声、止まらないなってしみる……あはあー、」

cha0095 ハハハ

「(アハ)ン……シャドウのチンポ、あの人と全然、違う。硬くって、勢いも激しくて、奥までガンガン当たって……ああ、私、若めに圧倒されてしまひたる……」

cha0096 ハハハ

「あら、あら、あら、あ、凄い、あなたのセックス、凄い、奥までこいぱいじゅぱじゅぱされて、あら、あ、あはああ、あはああ、あはああ、あはああ、お汁が止まらないの……あらうう……」

cha0097 ハハハ

「あん、あん、あん、あん、あん、あん、あん、あは、舐められて、恥ずかしい、あはああ、これも、あら、感じてしまつ薬に犯されてるから……快楽調教されてるせいだから……あはああ……ああ……」

cha0098 ハハハ

「ああ、シャドウ……そんな田で見ないで、んううう、おらうう、ああ、違うから、私、本当はこんなにセックスで感じたりしないの……違うの、あはああ、ねえ……意地悪言わないで……お願ひ……」

cha0099 ハハハ

「私は調教されなければ、あらうう、こんなに感じたりしないの……若い男に悶えるよつた、そんな女じやないの、へやううう、おまんこの中、ガン突きされて、いひい、あひい、あくうう……ああ……」

cha0100 ハハハ
「沢山ピストンをねじ、奥まで責められた、透つた、あらう、あくらう、千回もぐ感
じたおつ……ああ、あんん、あゆう……あら、あくらう、透く、千回が震え
て、頭が真っ白で、何も考へられなか……」

cha0101 11/11/12

「あッ、いく、いくうう……んううつー」
「んぐう、ひうう、ひううツ……おちんぽの先が、赤ちゃんの入り口にがんがん当たつて、んひいい、あひ……そんなに、いっぱいおまんこの中、揺さぶられてしまつたら、あ

cha0102 11/11/12

「ひぎつ、ひぎいい、あ……ああ……あなたのペニスが、子宮の入り口に刺さつて……あ、あはあああ、いくう、いくううつ……！ も、もう……ン……子宮でいつてしまふあ……ああ、ああつ……あはああつ！」

「はあ、はあ、はあツ……な、何、あなたのベニスが震えて……ああ、た、出してツ……だ、中に精液いりません出ない、んひいに、十四の奥に、熱々のザーメン、い、ぶつかけしてえ——ツ——ツ——」

cha0104 11/11/14

「……あ、ああッ……子宮の中に、直接、んうううう、当たってッ！ あはああッ、子供が出来ちゃう……シャドウとの赤ちやんできひやうう……あはあああ……」

cha0105 11/11/12

「……ああ、私、あなたの精液、いっぱい受けとめてしまって……人妻なのに……ふふ、はふうう……夫以外のペニスでイカされて……中出しまで……されてしまった…」

cha0106 11/11/2009

「（……シャドウとの不倫セックス気持ち良すぎて……若い肉体も、立派なペニスも、熱いザーメンも、もうと感じていたい……身体の疼きが収まらない……）」

cha0107 ハハハ

「……あなたに中で丑され……やの妊娠……」ハハハ笑わないけれど……でも
……敵を欺くためには、ハハハしたほうが、よかいたのよな……」

cha0108 ハハハ

「ああ、気にしないで……ああ、あなただけのやうじや、ないわ……」

cha0109 ハハハ

「ハハハ、私はもうあなたに手ひどく調教されやうのよ……ぐぐいida、恋人気
分でこさせちゃうだ」……ねえ、シャドウ、今度は私、こんな調教をされてしまは
の。」

cha0110 ハハハ

「——ああ、今からおねえいふを黙つだが、身体が火照りでホーホー……」

cha0111 ↴＼＼＼＼

「…………、今日はいいやつの。」
「…………快楽漬けにされても、心地ではあなたたちに売り渡すつもりはないわよ…………あ
あ、はあ、はあシ…………」

cha0026 ヘ＼＼＼＼

「まだ、満足しないの？」「…………身体の感度をあげただけじゃあ、ダメみたいね。ほ
れ、今日はこれをおみなさいー」

cha0112 ↴＼＼＼＼

「…………、こやつ…………ああ、ふくふく、かほ、かほシ…………シャドウ…………
…………かほシ…………」

cha0027 ヘ＼＼＼＼

「ふやくわは、わーお前の味方じゃないのよ。ちれたの？ やれとも裏で、繋がって
るるる」

cha0028 ヘ＼＼＼＼

「ふやくわ、たのむり飲んだわね…………わお、いいからせひやくにしたまつて、貴様が
かまつ」

cha0113 ↴＼＼＼＼

「ふやくわ…………また裏切り者に、好き勝手やれるの？…………悔しいシ…………ああ、あぐううう
…………何よ、両手を頭の上で、鎖で縛られて、あいつら…………シ…………全裸で、呪いれるなん
ト…………」
「…………」
「…………」

cha0114 ↴＼＼＼＼

「…………ふやくわ、わよ、わよシ…………じたばた、わがことわ……無駄いつねけなの…………
好きにしなやか…………あはあ、だめ、おもんいは触れられるだけで、んひつ、感度が上
がつて、あわ、こらこら…………あああシ」

cha0115 ハハハ

「意図ひは違ひて、勝手に感じて……」やんしお汁を、お湯のソースやつば、あやう
ハ、ああ、おねだり液が止まひなへド……」んな、裏切らぬのよがまがまなへド……
・あひい、んんッ……」

cha0116 ハハハ

「……な、なに、バイブ……なの……そんな大きいの、入るわけが、ああ、あはああ
ああ、んづづづ、ひ、ひ、ひ、はやー、中の、奥うう、いはい、広がつて、あ
あ、もつやめ……」

cha0117 ハハハ

「ハヤドウ、あなたの、裏切り者なんて言わないから、んむい、ああ……つば、
#拈じ、おまえ……極太バイブ、突つ込まれ、ひ……ひ、裂けやつ……つば、
……シ……」

cha0118 ハハハ

「あひ……あひシ……もハ、訴し……あ、ああ……何よ、まだバイブ、あ、あるの
……冗談……よね……んひ……あ……ひやううシ！ 今度はお尻の孔に、あ……あぐう
ハ、もハ、充分で——おねおねやねシ！」

cha0119 ハハハ

「おおえいだけでも、おまう、拈じの、お尻まで、あおおお、シャドウシ、ひ
えじ、ひまわるシ——あおお、おほおお、おお、んおおおお、お尻の穴、広がつて、
んおおー、入つて、おべつべシ！」

cha0120 ハハハ

「……あ、あ、あ、あ……お尻も、おおえいの、バイブでいはうド……あぐう……
苦しそれど、もつ限界なの……ああ……あ……何、シャドウ……そ、それ、もし
かしてバイブのスイッチ……」

cha0029 ハハハ

「ああ、わがいたるわね、シャドウ。メス犬の下半身を躊躇ひやつねや」

cha0121 ノハハハ

「ふひ、 セレだけは、ダメ……んひーし、 んひ、 むぬふれえ……あくべんべー
ン、 あねおお、 オホスル、 お尻も、 お尻も、 オベヘハラシ…… 一緒に、 ハルカスルトええ、
ああーし、 んひーしーしー」

cha0122 ノハハハ

「せら……せら……んひーし……出ぬし……ベイブ、 んひー、 止めてええ……眼イキし
ひやいト……おた、 お尻も、 おまんこ震ハシ、 んひー、 ハラハラシ……イヒトの
ニ、 おた、 ああ、 イグウラシー」

cha0123 ノハハハ

「ハヤシウ……助カレ、 ハグ、 ハグハハ、 あねおおおお、 お尻やむ、 オホスルトええ、 ん
おおお、 おほおほ……おた、 ハグハグ、 あねおおお、 おお、 おほおほーしーー」

cha0124 ノハハハ

「ああ、 お尻のベイブ、 ぬ、 抜いてくれるの……助かり——ハグシ、 おほおほおおシ、
ハグハハ、 おお、 振動しているベイブハハ、 ハグシ」

cha0125 ノハハハ

「あねおおお、 おほーし、 ハグ、 ハグハハ、 お尻の奥でシ、 おたイグウラシ、 いはああ
ーしーー、 ああ、 あなたああシ、 うんたれー、 私、 アナルで連続アクメしひやうう
シー、 んひーシ、 イグ、 イグーシ」

cha0126 ノハハハ

「ハハハ、 ハヤシウ、 ハの裏回り者、 やめ、 やめてええ、 お尻の奥、 感じハガシ、 あひ
ハハ、 お尻のまへないちやう、 んひー、 ああ、 イグ、 イグハハ、 いつてぬの、
イハトヤウ、 こめハハハハーー」

cha0127 11/11/12

「あ、あおおおおッ……」「うううう、うううう……いや、前も後ろも、同時に押しこまないで、おううううう、うううう……いや、うううう、うううう……あおおおお、もう、もううう、イキすぎでえ、頭、真っ白なの……あ

cha0128 11/11/12

「んひいい ああーーツ イクバツジ……おまんことお尻で 同時にイクバツジ……あ
はああ、ああツ、二穴イキいい、しひやうううううツ、あはあああ、ああーーツー！」

cha0129

「はひ、はひいい……お尻で、また、いぐうう、こんな……ああ……お尻で、バイブ唾
えこんれ……アクメつひやうなんて……ああ……ありえないよお……私……よ／＼れひや
つた……ああ……あひ、あひい……」

cha0130 11/11/12

「ああ、だめシャドウっ……この裏切り野郎、お尻のバイブをずぼずぼ動かさないで、んひいい、あひッ、ぶるぶるしたバイブで、お腹の中、かき回されて、イグ、またイグうう、アナルイキしひやうッ！」

cha0131 11/11/13

「……あおおおお……あふうツ……ああ、あなた、許して……アナルでよがつてしまふほど、墮ちてしまった、私を許して……おほおおーツ……おお……おふうう……」

cha0030 イライザ

「んちゅふふッ、すっかりお尻でイクのがクセになつたみたいね、コードネーム・ラミア。」れぐらごで、いいわよ、シャドウ。やうすぎると、壊れてしまつて、売り物にならないものね……」

cha0132 11/11/12

「……ああ、あおおッ……イグ、またイグうう……おほおおーッ……お……おお……あおお……ッ」

cha0133 ラババ

「ああ、シャドウ……待ってこねよ……薬漬けにせないこねさせ……恥ずかしい
人のを見せてしまつて……あらはは、ラバハイドロの全裸で辱められてこねる……わ
ら普通の暮着のことは戻れなさね……」

cha0134 ラババ

「大丈夫よ……体調はむしろここぐら……手の発情しひばなしで、ああ、んゅう
へ、こゆのしこね汁が、あやりかの連れ……せん、床なんて、ぬれちゃつたままだけ
じ……あんんじ……心配なこね……」

cha0135 ラババ

「あんじ、ここの、シャドウ……唇ぬのねいへし、薬で快楽調教された、私みたいな
女を抱きしめてくれるの……ああ、うれしへ……あなたの身体に抱かれているだけで、
んゅう……感じじこね……」

cha0136 ラババ

「ふふ、ふふ、わかいわぬ……任務も、順調そつね……内偵も進んで、ブラッディ・
シャークを裏で操る最高幹部が誰かも、あん少しでわかるのね……頭を漬してしまえば
……組織は一気に弱体化するわね……」

cha0137 ラババ

「ブラッディ・シャークみたいに、ボスのカリスマで回していく組織だ、なねやいのよね
……ああ、わづダメ、我慢できなこ。ねえ、仕事のお話はそれぐらのこじて……ねえ
お願ひ……じ……」

cha0138 ラババ

「……調教のせいが、身体が男を欲しがつて、疼きが治まらんこの……あらはは、ねえ、
いいでしょ……私の身体をこんな風に変えてしまったのは、あなたよ、シャドウ……あ
あ、んんじ、わいふ強く……抱いて……」

cha0139 \|/\\"/ト

「（……不倫だとねかいでこいも、身体がシャデウを求めてしあう……他の男が来たのなんへ、）」（）もや欲しがりたりしないのは……シャデウの若い身体を見ぬく、ぬへ気持ちが揺えのねなこ……）」

cha0140 \|/\\"/ト

「（……わう、夫なんて、あの人なんへ、）」（）もや……シャデウに抱かれたへ……」（）の若い肉体に抱かれて、私の身体をぬかやくかやじめへあそんばほしへ……）」

cha0141 \|/\\"/ト

「ねえ、キスして……こめらしげキスをたのぱり、あなたとしたいの……あふ、んんつ……わよば、わよ、はよう……だめ、わいふ沢山キスして、あふ、わよば、わよば、わよば、えわよばわよば、バロも絡めい、あよひつ……」

cha0142 \|/\\"/ト

「ああ、んわよ、わよば……あなたの唇を味わってたいけば……おわんばも欲しいの……ねえ、あなたねいへ」大きくして準備万端みたいね……男のこくてガチガチで好き……あんい、今日は後ろでこいぱこして欲しいのよ」

cha0143 \|/\\"/ト

「ねおえいじやなへい、せのいひが……お尻のせへくお願い……」（）わよひて、んしょへ、んしょひふ、んわよ、動物みたいに、四つん這いになつて……ああ、恥ずかしいけど、）の格好、興奮しちやう……）」

cha0145 \|/\\"/ト

「や、お願い。）（）よ、私のお尻、ベックからの想い取り貫いて、）（）はい感じさせて……夫を忘れてしあうべく……あなたに犯されたいの……叫べ……）」

cha0146 ハハハ

「……ああ、シルvanaこじ……恥ずかしい……お尻丸出しで、りんはしたない格好のまが、ああ、こやいこ手のまどお尻黒でないで……ああ、あたああッ……お肉のいた尻たるの黒でね、えひシ……」

cha0147 ハハハ

「はあはあ、お尻黒でね、無防備なお尻を見られて、恥ずかしい……せの見て……あなたに拡張された、お尻の孔……ああ、切なくてヒクついてる……あらう……オチンポ、欲しくてたまらないの……」

cha0148 ハハハ

「えうう、えうよ、あ……あなたの立派なオチンポ、あらう、入り口に当たって……ああ、やつと入れてゆくの……せの中から透明なお汁が溢れて……おちんぽ欲しがりてるのわかるわよね……わつ限界なの」

cha0149 ハハハ

「んはああ……んん、おお、んおおおおお……やへとあなたのペニスがお尻に入ってきた、す」「ああ……やへと待つてたの……太い熱くて、硬いけど……優しくて……乱暴なバイブルとは全然違う……」

cha0150 ハハハ

「えおお……おおう、んん、アナルいい、たまらないの、ああ、入れられてだけで、」えなに感じひやうなんて、ああ、ねえ、シャドウ……」のまが、いはい愛して、お尻で感じさせて……ああ……」

cha0151 ハハハ

「ああ、おお、シルvanaこじ……ああ、お尻の入り口……んひ、お送りばして……くらシ……アナルもひと拡がりあやつよお、んおシ……んうう、んおおお、お尻の孔、カリで広がって、や」「……シ……」

cha0152 11/11/12

「あおお、おふうう……もつと奥も突いて、アナルの中まで、犯し抜いてッ……あおお、おふうう、そうッ、奥の奥まで、んおおおお、おほおおお……おちんぽ入つきて、んおおお……犯されてるうう……」

cha0153 11/11/13

「あおおおお……おお、んおおッ……おほッ……いい、ナルたまらないのッ、奥まで
ぶうとうチンポが、「うう」擦って、おううッ、奥まで叩かれて、お尻、やうぱりい
い、いいひいいッ、ああ、あはあああ……」

cha0155 11/11/12

「ああ、あなたに、大好きなあなたに、お尻を犯されて、あおおおお、おほおおッ、い、いぐうう、ああ、シャドウ好きッ、あなたの若いチンポで犯されるお尻セックス、夫とのセックスよりも好きいい！」

cha0156 11/11/13

「もう、この気持ち、あひいい、押さえられないの……ああ、してええ、大好きなあなたに、あなたのオチンポに、アナルでイカせてーっ、あはああ、もういいの、夫なんかよりも、ああ、あなたが好きッ……」

cha0157 11/11/13

「あはああ、おお、んおおお、激しい、お尻のピストンますます、速くなつて……ああ、あなたも私を好いてくれてるの……うれしいッ……ああ、イグ、もうアナルでアクメ決めちゃうッ……あはああッ……」

cha0158 11/11/12

cha0159 11/11/13

「……ああ、熱いの、お腹の中に注がれて……はあうう……下腹のあたりがちやんちやんとしてる……あんざんナル調教されたけど……ペニスでされるのは初めて……だから、ナル処女はあなたのものよ……」

cha0160 11/11/13

「はあはあッ……また、あおおおおお、奥にザーメン注がれて、凄いいい、あふううー
ツ……ああ、あなたもいつぱい気持ち良くなってくれたのね、うれしい……アナルを搾
げる」ことができて、よかつたあ……」「…

cha0161 11/11/13

「なあに？ んふふ、まだ、いっぱい私を調教してしまつて話？ いいのよ、謝ら
なくても。私は、あなたに調教されて、この身体の新しい悦びを教えてやるわ」
が、今の生きがいなの……」

cha0162 11/11/2012

「ねえ、私ももっと調教されたい……あなたのために……どこまでも墮ちていきたいの……だからもつと、私をあなた好みのいやらしい女に変えて……お願ひ……」

cha0163 11/11/13

「（ああ、ごめんなさい……私ももう夫のところへ戻れなくなってしまいそう……）」

// ▼ 0007 ローター攻めと、おもい」

// 【メモ】調教部屋 調教モード（シャドウ、ラミア、イライザ）

cha0164 ハハハ

「……何しに来たの。いへなに身体の感度を上げて、あらシ、ナルの悦びまで教へ」
「……まだ、私の身体に用があるの……」

cha0031 ハハハイザ

「全裸で、両腕を無様に鎖で吊られた状態でいたのに、口のくわい女ね。さすが
はローデスター・ハハト。おもんじだつて、ぐいしより濡れて、本当におちんぽのおね
だり、いわしたこのよね？」

cha0165 ハハハ

「ハハハ……知らなこねよ……ハイライザ、あなたの顔が、裏切り者のシャドウの顔が、見
るだかで、ハハハアするわよ。わつ私の身体は充分仕上がりこねんでしょ、ハハヒド
も売り飛ばしなさい……」

32

cha0032 ハハハイザ

「焦ひなへても、今日が最後よ。れあ、」の薬を飲んで貰うね。シャドウ、彼女に飲
ませてあがい」

cha0166 ハハハ

「ハハハ、好きにしなれ……ハハ」たのシャドウ、手が震えて……裏切り者、早くしな
せこ、せら私に飲ませるのよな、んつつ、んく、んくくく、んくくく、ぱは、け
ほ、けほけほほ……あら、つ……」

cha0167 ハハハ

「……あら、ハハ……何の薬なの……ああ、下半身がおもおもかして……ハハシ……
わからなこか、なんだか変よ……ああ、あはああ……」

cha0033 ハハハイザ

「それは後のお楽しみよ。さあ、あなたの身体、今日はおもおもかしておけよつかーい。
前はバイブだったから、今日は趣向を変えて、ローターなんかおもおもかーい」

cha0034 イラ イヂ

cha0168 11/11/12

「う、うそ……何個もあるじゃない……こんなの全部、入るわけが、あああッ、いや、入れないで、んはあああ、ああ、おまんこに、いや、シャドウ、やめなさい、何個も、んうう、あふうう、また入れて……」

cha0169 11/11/2014

「んうう、ああ、もう入らな」「おまん」「いはは」「で、あふう」「苦し」「んうう、おまん」「もういははいは」「やめて、やめてええ、あぐぐう、奥押され
て、ひぐうう、子宮まで、入って……」

cha0035 一ノ一ノ

「シャドウは、そのままアナルにもローターを入れてあげて……くすすッ、おまんこには、もっと入るわよね、そらッ、あたしの手で無理矢理入れてあげる、苦しいでしょ、でも、頑張って、そらそらッ♪」

cha0170 11/11/13

「あおおおお、お尻の奥に、んひ、おお、んおお、ローター、またツ、いっぱいローター
一入つて、怖いよお……シャドウ、やめて、お腹張ってきて、苦し……おまんこも、ん
ひいい、奥がつつかえて……あぐうう」

cha0036 イライヂ

「ほら、ラミア。身体の力抜いて子宮で受けないと、ヴァギナが裂けちゃうわよ。あた
しはそれでもいいけど……代わりに組織の人工ヴァギナを代わりに装着してあげる……
んふふ、ほら子宮で受けなさい♪」

cha0171 ハハハ

「あぐー、子宮口、ねぐら、ローターのぐいとれい、かうじこ、あくら、お尻
も限界、はひ、ははあ、おノイソの歯みたこ、せら、おねつり、ローター溢
れやせたやこや、つべべ」

cha0172 ハハハ

「あはああああ、前も後ろも、ローター、いはこ、せらううう、お腹がぱんぱん
に張って茹しいこ、はひ、おおおおお、シャドウ、ローター、入らない、
奥に無し、えじや、ぬめめめ……」

cha0037 ハハハ

「えら、見た目でもわからへいこ、お腹ほいりの腰が、だいぶのローターを孕ん
じやつたみたいねえ。それじやあ、ローターのワキロンスイッチ、入れていきましょ
か。おやはお尻一個、おおえい一個な」

cha0173 ハハハ

「えら、えら……ははああああ、こや、こやあ、やめて、お願い、お願いだ
からああ、身体の奥、ぬるぬるして、こわい、こわい、ああああ、こぐ……あ
ひ、感じすれい、こぐらー、あーーー」

cha0038 ハハハ

「はよ、まだ何個も入っているローターの、一個だよ。ほら、中になんに沢山、ロ
ーター抱えい、なんの、一個だけドベのやつだよ、だめよ。ぬいと頑張りなぞ
い」

cha0174 ハハハ

「はら、はら、はひ、苦い、お願い、ローター止めて、感じすれい、おかひくな
いわや、ああ、あやう、下半身が変なの、あら、何、シャドウ、あそいをこつ
ぽい撫で、あひこ、おたこ手で……」

cha0175 ハハハ

「あふふふ、ローターでぐるぐるして、中からの刺激がれるのに、あひ、外からも……クリに、はひッ、おまんこは、太腿を内股にして、ぐるぐる震わせとかして、オシッコがしたくなってしまったとか。ふふふ、図星だよ」

「…………だめ、だめだからあ…………」

cha0039 ハハハ

「何がダメなの、ラビア。太腿を内股にして、ぐるぐる震わせとかして、オシッコがしたくなってしまったとか。ふふふ、図星だよ」

cha0176 ハハハ

「ふ…………ふふふ…………私、何がいいといひの?…………」

cha0040 ハハハ

「だひー、お前が飲んだ薬はね、利尿剤っていうて、おしのいが出てやすくなる薬なの。下半身丸出しで立ってこんな感じで、内からローター、外からシャドウが刺激したら…」

「…………ふふふが、わかるわよね?」

cha0177 ハハハ

「…………ふふふ、こんなりふたひ…………飲まなければよかいた…………」おもだの屈辱を受けるなんて……絶対に、私……おこひいがなんてしないから……シャドウの前で、ああ、失禁なんて、こや……」

cha0041 ハハハ

「やあ、限界なんだよ。ほひ、シャドウ、おひふト腹部をマッサージしてあげて。特にオシッコの出る、尿道のあたりをねえ……ふふふふ」

cha0178 ハハハ

「ああ、あはあああ、こや、本当にこや、お、オシッコだけは……ああ、お漏らしを見られてしまったなんて、恥ずかねば……お、こや、なの……本当にこや……」うふふふ、こやあああああーっ……」

cha0179

「はひッ、苦しい、もう限界……だけど、たとえ膀胱が裂けても、耐えて見せる……うくうう、ねえ、シャドウ、どうして笑ってるの……え、それって……ローターのスイッチ、い、入れちゃ、だ、ダメッッ!!」

cha0180 11/11/14

「うううーッ」「うううーッ！」「うううーッ！」
お腹全部がふるふるしてええ、あひいい、ああ、お尻でもおまんこでも、おほおお、ローターが暴れて……ううう、もつもつシ、我慢しきれないの、お

cha0181 ۱۱۱۱۱

「……あぐぐうう、イグう、イグイグイグうう、やはああああ——ツ！　あ……ああ
……あはああああ、ああ……イキながら……身体の力が抜けて……あはあ……あはああ
~~~~ツ」

cha0182 11/11/12

「う、おーい!……お漏りー!……しらやいで……あはああ、もつ、だめ、止められな  
い、あはああ……気持ち……いい……おーい! 出すの、あふふふふ……最高……あ  
ああ……」

cha0183 11/11/12

「んひいい、あひいい、イキながらああ、オシッコでるの止まらないいい……はあはあ  
あ、シャドウにも、イライザにまで見られて、はしたなく、お漏らしして……ああ、  
見られて、恥ずかしい……」

cha0184 11/11/12

「あはあああ、恥ずかしいのに、感じちゃって、あひい、んひ、んひいい、おしゃべり  
られて、いぐ、いぐうう、あはあああ～ッ、あああッ、あおおおッ！ おううううう  
ツ！」

ツ  
!

cha0185 11/11/13

「いや、いやあ、イッてええ、いっぱい入ったローター、排泄しひやううう、ああ、なんで、こんなああ、まるでローター、いやらしく産卵してゐみたいなお、あはああ～ツ、あおおお、おほおおお～～ツ！」

cha0042 イラスト

「わーんふふふふ、あはははははははツ、コードネーム・ラミア。最高の潜入捜査官と言われたお前が、お漏らしにローター産卵ツ、最高に素晴らしいショーを見させでもらつた

cha0186

「……はひ……はひいい……い、あひいい……オシツコ、気持ちよかつたあ……ああ  
あ……もひもひ……恥ずかしい」させで……ラミアを「はは」辱めてえ……あは  
あはああ……あくえ……ええ……」

cha0043 イライザ

「」の様子は動画にも収めてある。組織のおエラ方もさぞ満足するわねえ。よくやったわよ、シャドウ。これからあたしの右腕として、ますます活躍してもらひつねえ

cha0187 ラバババ

「（……シャドウ……田の前で失禁までさせるなんて……任務のためとはいへ、ひどい……でも、私も感じてしまつて……あなたの手で、すつかり露出マゾに変えられたみたいね……あ、シャドウが来たねね……）」

cha0188 ラバババ

「ねえ、シャドウ。あんないいまだするなんじ……私、あなたの手で普通のセックスのできない身体に変えられてしまつたのよ……」

cha0189 ラバババ

「お尻か、あぶらう、こいぱい開発され、あなたのデカチンボも全部飲み込めようになつてしまつたのよ……わ、夫とのセックスでなんて満足できない……あなたがこんな身体に変えてしまつたのよ」

cha0190 ラバババ

「え、ああ、そうね……任務の話ね。組織の全容も揃んだ……あら……あと少しでアラツトイ・シャークを壊滅させられるのね……よかつた……あ、ねえ、お仕事の話は、わづこいから、呪へ可愛がつて……」

38

cha0191 ラバババ

「せひ、おおえい、アナルもあなたを欲しがつて、だらしなく悶えまつてゐる。」のまま横になつてしまつから、あなたのねがいは頭戴、まあ、お願ひ……」

cha0192 ラバババ

「股を開いて、入れやすいよつて、足を上げて、あなたの肩に乗せてしまつから……ほら、おおえいシトナル、交互にこいぱい突いて……わ、夫のものではだめ、あなたのでないと感じられないの、あはあああー」

cha0193 11/11/13

「いきなひ、アナルに来て……おほ、おほおおッ！　あおおおお、あおおつ、んおお、  
おおッ、奥までいっぱいぼぼぼぼされて、イグの、イグうう、あふ、いきなり軽くアク  
メッひやうう、おほおおーッ！」

cha0194 11/11/13

「ああッ、ストロークも深くて、最高ッ！」

「んひいい、あはあああ、あんッ、今度はおまんこッ、ああッ、あああああッ、いっばいピストン凄いい、んふうう、感じすぎてお汁が溢れすぎひやううう、あはああ、あ

cha0195 11/11/13

「あはあああ、おまんこも、ああ、イクううう……あなたのチンポ専用になつひやつて  
ツ、あはんツ……少しのピストンで即イキつ、しひやううう、あああツ、あはああああ  
あうツ、あーーツー！」

cha0196 11/11/2014

「んひ、おほおお、今度はアナルつ、おまんこいつたばかりで、アナルされるの、ああ、いい、いいのおお、おほ、おほおお、今度は奥うう、いっぱい突かれて、あおお、お尻でされてるのに、おお、んおおおッ！」

cha0197 11/11/13

「十回まで、あなたのおちんぽが響いて、おひつひつシ、感じひやつらーーッ、あおお  
ツ、おほお、おおおおお、ふおおおおーーー。また、こべ、こべべ、アクメつひやう  
う、ああーんひ、ああ……抜いてしまうの……」

GBA0198 11/11

「お尻、イキそらうらつたのに抜かれて……今度はまた、おまんこ、あはあ、あはあんツ、ひぐうう、奥うう、ひぎいいじ、いつぱいガン突きされて、はひい、気持ち良すぎて、あへええ、あへええ〜ツ！」

cha0199 11/11/2014

「はひ、またアナル、おおッ、おううう、凄いいい、腸壁が擦られて、おトイレの気持ちよさが、ずっと続いてるうう、あおおお、おお、おほおおーッ！ あぐうう、またおまんこ、あん、ああんッ、あはあッ！」

cha0200 11/11

「ほひ お戸とおまんこ 交際は責められる」と どうせ もよくなくて ほひいい でも  
いけないの、イキそうで、んおおお、あはあああ、イキたいのに、いけないのずつと続  
いて、頭蕩けて、おかひくなるーッ！」

cha0201 11/11/2011

「ねえ、イカせてえ、どっちでもいいから、私をイカせて、あはあああ、どっちか決め  
て、あはあああ、イカせて……でないと、私、じらされすぎて、わけわかんなくなつひ  
やううーツ、あーツ！！」

cha0202 11/11/2012

「あん あああジ おまん」で ああ イかせてくれるの……ああ お願ひ……シャ  
ドウの精液、中にたっぷり注がれこんでほしいの……子宮まで、ザーメンまみれにし  
て、いっぱい突いて、子作りセックスしてッ！」

cha0203 11/11/13

「ひぐ、ひぐうう、そうゞ、奥ゞ、赤ちゃんの出でくるといふ、子宮の入り口、いつぱ  
い突いて、ひぎい、あひいいゞ、もう、もうゞ、いぐははは、おまんゞ、ああ、やつ  
とイカせて……もんえる……」

cha0204 11/11/14

「あはああ、あなたの精液、遠慮なく、私に出して……子宮に直接、熱々ザーメン、いっぱい頂戴ッ。あひいい、子作りセックスッ、夫がいるのに、別の男と子作り不倫セツクスうう、感じひやうううッ……！」

cha0205 11/11/2005

「ひゅううう、子宮におちんぽ潜りこんできて、ひい、夫とのセックスでこんなこと絶対なかつた、んひいい、ああ、子宮口ずぼずぼされて、抜けられていぬううう、ああああッ！」

cha0206 ۱۱۱

あ、好き、あなたのこと好きよ。ああッ、して、早くだして～ッ！」

cha0207 11/11/2012

「子宮に、いはいして、テフ不倫サーメン、いはい子宮に、あちまでえう、ああああう。子宮の奥まで、あぐぐうううう……おちんぽめぐひ、ビクビクして、いいひいい……あうう……うう……」

cha0208 11/11/12

「ああ、イクうう、私、イつてしまふ、あなたも一緒にツ……あはああ、もうイグのツ、イグイグイグうう、子宮貫かれてツ、不倫セツクスで、イグううううううツ、やはああああ——ツ！」

cha0209 11/11/2014

「あはああああ……はひ、はひいい、いつた子宮に、いっぱいザーメン注がれて、あはああああ、お腹熱いのでいっぱいになって、全身蕩けひやいそつらのおお、あはああああ……」

cha0210 11/11/12

「……ああ、これ、完全に妊娠しひやつてる……無防備な絶頂後の子宮に、いつぱい種付け射精されて、あああああ、あはああ……んひ、んひいい……あなたの子供、孕んじやつてらぶ……」

卷之三

「わ、夫とは別れるからあ、あ、あなたの子供産ませて……それで、もうといつぱい快樂調教して……あなたのおちんぽのこと以外、何も考えられなくともいいからああ……あひいい、あへええ……」

cha0212 ハハハ

「えおお、あおおおお、また中出しだす、あはあああ、それで、イグ、うううシ……あはあ  
あ、あはあう……また妊娠確率、上がり物やつたああ、んん、あらひらら、また  
あ、中出しだいがうう、あああ、うれしへ」

cha0213 ハハハ

「んはああ、んん、あはああ……ういぱこ出ねー、ああ、絶対に妊娠しておつかね  
……わいふ出しへ、精液でたいぱつマーサハグして、あなただけの女にしてシ……」

cha0214 ハハハ

「ああう、もつ夫なへじのはこ、あなたが夫なの……シー」

cha0044 ハハハ

「……えややや、随分仲がいいみたじね、シャビウ、ハハハ。なんよ、一人ぶか、驚い  
た顔をしつか、せん、そのおがいハハハセシクスを続かせり……ういぱく、ハのあた  
しを驅していたのねバ……」

cha0215 ハハハ

「…………つづ、こんな…………最後の最後で……イライザにバレてしまつなんて…………悔しい……お前を殺して、私も死ぬ……」

cha0045 ハハハ

「ハハハ、待ちなさい……冷静になつて、これによく見なさい。わかるかしら。あなたたちと同じ国家特別捜査官の証明書よ。そろよ、私もハラシゲイ・シャークに、以前から潜入していたの…………もうひん極秘裏にな」

cha0046 ハハハ

「えいにあなたたちが潜入してきたから、あたしのほうから、あなたたちを利用した。組織の信頼を得て上層部へ食い込み、わらなる情報を得るために。結果、組織の名簿とトップを初めとする幹部の顔を確認できた」

cha0216 ハハハ

「…………」やあ、ハラシゲイ・シャークは――

cha0047 ハハハ

「ええあなたたちのお陰で、壊滅せむる」事ができやうよ。資金源、主要幹部や構成員、金の流れまで揃わいい事ができたの。そのためにあたしも組織の金庫番と何度も寝たけぬ……とんだ変態野郎だつたわ」「

cha0048 ハハハ

「今回ば、あなたたちの力が大きいわ。なんせ、ハハハ、あなたの身体や、快楽調教のやれいぱりに、組織のボスが「熱心だつたみたいだから、んな」

cha0217 ハハハ

「…………ああ、よがつた…………」のががンシャドウと、離ればなれになつてしまつたかと思つたもの……ああ、あなたの」と大好きよ……わう一生離れない……ああ、好き、好き、好き、愛しい……」

cha0049 ベトライザ

「結果的に一人のキーパンシドになれてよがったのかしら。ベトア、あなたには、少々  
至んだ性癖を植えつけてしまつたみたいだけど、それは許してね……」

cha0050 ベトライザ

「それじゃ、お一人の甘い時間を邪魔するのは野暮みたい。一時間後に、また来るわ。  
ベトアを脱臼ね」

cha0218 ベトライザ

「えへ、イライザ、ありがとー……行つてしまつたわね……でも、驚いた……イライザ  
も潜入捜査官だったなんて……ね、シャドウはわかつたの?」

cha0219 ベトライザ

「えへ、心うね……わからんわよ……冷酷な仕事中に、私だけ心の底から憎んで  
しまつただいたわのね……」

cha0220 ベトライザ

「えれいや、あと一時間、たいぶらエシチないんじゃよ。まだ、迷ひ、私の中に、  
あやうう、あなたの赤ちゃんは入つたあがなによ、んうう、あん……話してる間に  
も、また大きくなつて、節操ないのね」

cha0221 ベトライザ

「迷ひ、ああああ、あはああ、動いて、あやうう、せせこしたザーメンを擦りつけ  
るみたいに、私の中、こいばこがき回し、ああ、あああ、あはあああーーー!」

cha0222 ベトライザ

「えへへ、あやうう、ね、帰つたら、今度はアナルめたりゅう愛してせしの……中  
にも、たぐれこむ……おがくじださじや、寂しきゆの、ああ、あはあああ……  
…」

cha0223 リハーサル

「お尻でも、すべにあなたを受け入れられるよ、極太バイブを咥えて、しつかり抜げておくわ。だいて、あなたが私をこんな淫らな女にしてしまったのよ、お尻におちんぽを欲しがりてしまふ女にな」

cha0224 リハーサル

「夫のいる人妻を快楽調教してしまったんだもの、その責任はちゃんと取つてやるわよ。私もお返しに、あなたにもっと淫らに調教されて、あなただけの専用エロ奴隸になつてあがるから、んゅんゅん……」